



- P1 株主のみなさまへ
- P4 工事実績のご紹介
- P5 財 務 情 報
- P7 上半期トピックス
- P9 技 術 の ご 紹 介



代表取締役社長 **今井 雅則**

### ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当上半期(2017年4月1日～2017年9月30日)の決算概要とともに、経営計画の進捗状況につきましてご報告いたします。

### 当上半期の概況

当上半期における国内景気は、雇用、所得環境が改善し、個人消費も持ち直すなど、緩やかな回復基調が続いております。建設業界においては、民間工事の受注が前期並みに推移するなど、全体として堅調な収益環境を維持しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、連結売上高につきましては、主に当社における完成工事高が減少したことにより、前年同期比11.0%減の1,816億円となりました。

営業損益につきましては、採算重視の受注方針の徹底及び生産性の向上に向けた取り組みの実施等により、営業利益は123億円(前年同期比1.4%増)となりました。経常利益につきましては、受取利息及び保有する投資有価証券の受取配当金等により、135億円(前年同期比3.4%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等の負担の増加等により、102億円(前年同期比10.5%減)となりました。

## 経営計画の進捗状況

当社は、本年度より、2019年度を最終年度とする新たな中期経営計画をスタートさせ、経営リソースのシフトと新価値の創造に向けた施策を展開しております。

建設事業におきましては、積極的な営業活動の推進により、当上半期末の繰越工事高が、建築4,617億円、土木1,805億円と、近年の実績と比べても高水準な状況となっております。また、その内訳につきましては、建築では「病院・学校」「高付加価値オフィス」、土木では「山岳トンネル・大型インフラ」「区画開発」などの重点分野が過半を占めております。今後、生産性の向上とともに、差別化価値の創出

に向けて、技術・ノウハウの開発及び蓄積に一層注力してまいります。

将来的な収益の確保に向けた投資計画におきましては、2017年度から2019年度の3年間で720億円、本年度は約215億円の投資を予定しております。既に本年10月には八丁堀センタービル(東京都中央区)の共同保有会社をM&Aするなど、取り組みを進めております。また、浮体式洋上風力発電プロジェクト建設の設備投資資金としてグリーンボンドを発行(本年12月頃予定)し、新たな資金調達を実施してまいります。

## 財務ハイライト(連結)



## 下半期に際して

今後の経営環境を見ますと、資材・労務の逼迫等による建設コストの上昇などの懸念事項を残しており、不透明な状況が続くものと予想されます。

下半期におきましては、持続的成長に向けた収益基盤の構築に向けて、引き続き、差別化価値の獲得とともに、戦略事業（投資開発及び新領域、国内グループ会社、海外）の更なる強化に取り組んでまいります。

こうした状況を踏まえ、当期通期の業績は、連結売上高4,170億円（前期比1.4%減）、営業利益207億円（同17.2%減）と予測しております。

事業別業績（営業利益）の見通しにつきましては、国内建築137億円、国内土木60億円、投資開発及び新領域8億円、国内グループ会社10億円、海外△8億円を見込んでおります。

なお、1株当たりの年間配当金は12円（前期比3円減）を予定しております。

引き続き、グローバルビジョンに掲げる「喜び」を実現する企業グループを目指して邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 事業別業績（前期実績および当期見通し）

#### 営業利益



売上高 (億円)	2,917	2,776	1,005	1,005	52	50	354	325	96	149
利益額 (億円)	197	137	45	60	4	8	15	10	△11	△8
利益率 (%)	6.8	4.9	4.5	6.0	8.0	16.0	4.5	3.1	△11.7	△5.7

#### 売上高構成比 (第95期予想)



※新領域は、エネルギー関連及びその他新規事業

# 工事实績のご紹介

## 当上半期の完成・受注工事

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当上半期における主な完成・受注工事をご紹介します。

### 大阪陽子線クリニック新築工事



**工事名称** ▶ 大阪陽子線クリニック新築工事

**工事場所** ▶ 大阪府

**発注者** ▶ 医療法人伯鳳会

**竣工月** ▶ 2017年4月

**工事概要** ▶ RC造 地上5階 地下1階

**用途** ▶ 医療・福祉施設

### ユーラス伊達黄金ウインドファーム建設工事



**工事名称** ▶ ユーラス伊達黄金ウインドファーム建設工事

**工事場所** ▶ 北海道

**発注者** ▶ 株式会社ユーラス伊達黄金風力

**竣工月** ▶ 2017年6月

**工事概要** ▶ **造成工事**: 工事用道路・風車ヤード(約14万m<sup>3</sup>の切盛土工事、7万m<sup>2</sup>の法面植生工事)

**風車基礎**: 17基(既成杭88本(Hyper-MEGA工法)、ラッフルコン400m<sup>3</sup>、躯体コン1万m<sup>3</sup>)

**風車輸送組立**: 日本製鋼所社製9基、日立製作所社製8基の合計17基

**舗装工**: 2万m<sup>2</sup>

**電気関係**: 構内電線路15km、風車サイト電気工17基、航空障害灯13基、接地線工事一式

連系変電所一式、使用前自主検査一式

**新築建て方**: 管理棟一式

**用途** ▶ 風車

## ■ 当上半期における主な受注工事

### ・三菱地所(株)他

大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業A棟新築工事

・横浜市病院事業管理者 横浜市立市民病院再整備診療棟工事(建築工事)

・札幌国際観光(株) 函館センチュリーマリーナホテル新築工事

・(株)大和証券グループ本社 大和呉服橋ビル地上・地下解体工事

・神奈川県 川崎市 入江崎水処理センター改築建築その3工事

・(学)三幸学園 (仮称)三幸学園仙台8号館新築工事

・福岡県 糟屋郡 新宮町 (仮称)新宮町立新宮東中学校新築工事

### ・三菱地所(株)

大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業A棟地下接続工事(土木工事)

・東北農政局 岩手山麓農業水利事業 導水路建設工事

・東日本高速道路(株) 道東自動車道 新得地区土石流対策工事

・岡山県 倉敷市 白楽町ごみ焼却処理場等解体整備工事

## ■ 当上半期における主な完成工事

・日本郵便(株) 中国東部郵便処理施設(仮称)新築工事

・(福)恩賜財団済生会平塚病院 (仮称)済生会平塚病院新築工事

・(医)有働会 有働病院新築工事

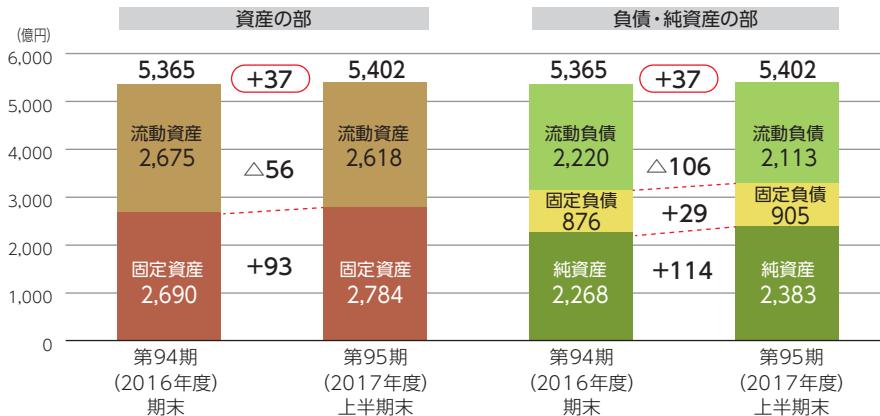
・日本郵便(株) 新福島郵便処理施設(仮称)新築工事

・オリックス(株) (仮称)八重洲通り計画新築工事

・東日本高速道路(株) 東関東自動車道 紅葉工事

・(独)都市再生機構 平成24年度織笠地区・山田地区整地工事(早期整備工事)

### 連結貸借対照表



#### 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等が211億円減少しましたが、現金預金が97億円、投資有価証券が76億円、未成工事支出金が61億円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して37億円増加の5,402億円(0.7%増)となりました。

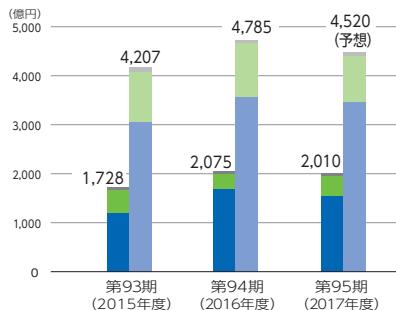
#### 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、未成工事受入金が102億円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が139億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して77億円減少の3,019億円(2.5%減)となりました。

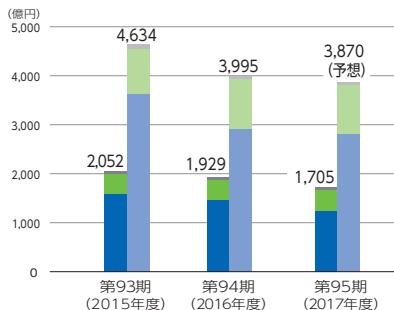
#### 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、保有株式の時価の上昇によりその他有価証券評価差額金が56億円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益102億円の計上などに伴い前連結会計年度末と比較して114億円増加の2,383億円(5.0%増)となり、自己資本比率は43.6%となりました。

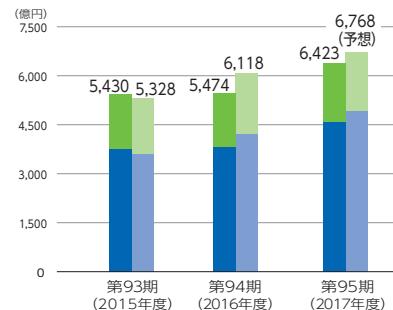
#### 受注高(個別)



#### 売上高(個別)

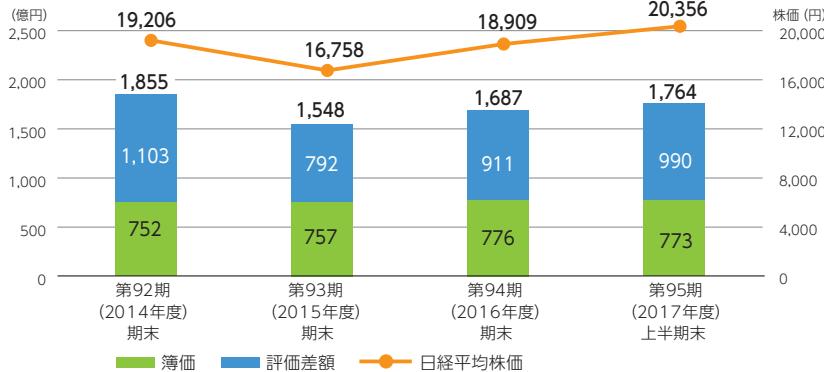


#### 繰越高(個別)



建築事業：■上半期 ■通期 土木事業：■上半期 ■通期 不動産事業：■上半期 ■通期

## 投資有価証券の推移



## 投資有価証券

保有株式につきましては、コーポレート・ガバナンス方針に基づき、中長期的な企業価値の向上に資するかどうかの観点から保有継続について判断することとしております。2017年度中の株価の変動により評価差額が79億円増加したことなどにより、投資有価証券の当第2四半期末残高は1,764億円となりました。

なお、損益への影響としては、営業外収益に受取配当金14億円、特別利益に売却益14億円が含まれています。

## 連結キャッシュ・フローの状況

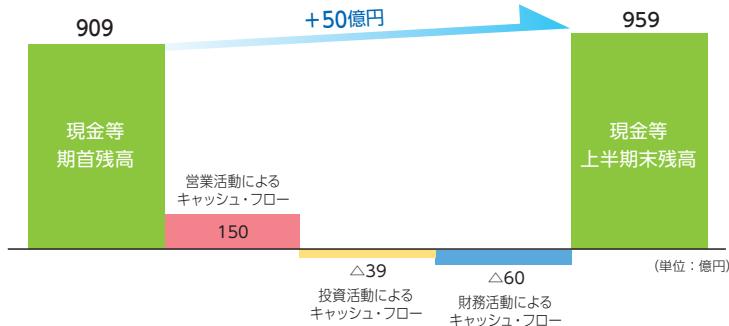
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が150億円となり、仕入債務の減少により138億円、未成工事支出金の増加により61億円の資金が減少しましたが、売上債権の減少により210億円、未成工事受入金の増加により102億円の資金が増加したため、営業活動としては150億円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還により34億円の資金が増加しましたが、有形固定資産の取得により48億円、投資有価証券の取得により17億円の資金が減少したため、投資活動としては39億円の資金減少となりました。

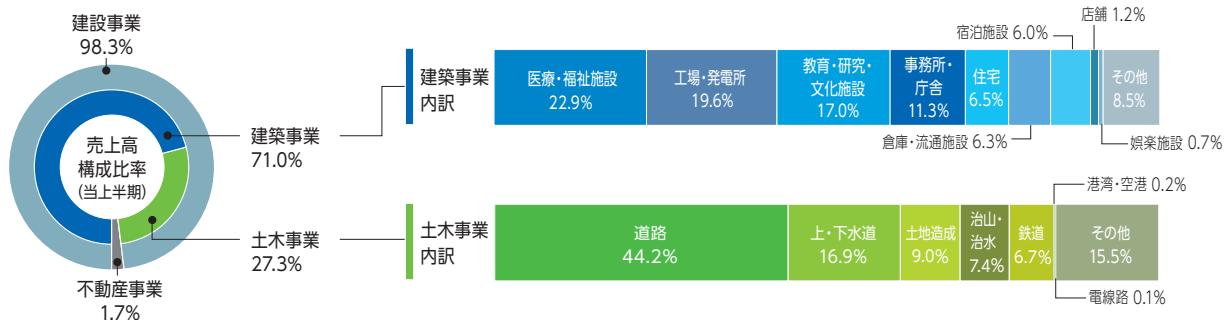
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により46億円、借入金の減少により13億円の資金が減少したため、財務活動としては60億円の資金減少となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末と比較して50億円増加し、959億円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー 第95期(2017年度)



## 事業種類別 売上高構成比率(個別)



4月

## 世にもおかしな建築物PROJECT

— Webコンテンツ公開中 —

本年4月よりPR動画「世にもおかしな建築物」を公開しています。

従来から頂いている当社へのご評価は「真面目」・「堅実」ですが、その中でも遊び心があり、個性にあふれた社員集団であることをアピールすることが本動画の目的です。特に、建設業に馴染みのない若い年代を意識して、羊羹で洋館をつくるプロジェクトをストーリー仕立ての動画で紹介する内容になっています。洋館建設プロセスと羊羹の製造過程を照らし合わせ、分かりやすく説明しています。

WEBコンテンツもぜひご覧ください。

(WEBコンテンツ)

<http://www.toda.co.jp/yohkan>



5月

## ブラジル戸田建設(株)施工の ジャパン・ハウス サンパウロがオープン

日本の多様な魅力の発信拠点である『ジャパン・ハウス』の第1号館が、5月6日(現地時間)、ブラジル連邦共和国サンパウロ市で一般公開されました。これに先立ち4月30日に行われた開館式にはブラジルのテルム大統領や麻生太郎副総理など、両国の要人が一堂に会し、当社より今井社長も出席しました。

施工を担当したブラジル戸田建設は当社のグループ会社であり、1972年にサンパウロに設立、今年で45周年を迎えます。サンパウロ州の建設会社としてはいち早くISO9001・14001認証を取得し、確かな品質とサービスでブラジルに進出する日本企業、多国籍企業の信頼を得ています。



ジャパン・ハウス サンパウロの和紙や檜を使った建築デザインは、新国立競技場の設計などで知られる建築家の隈研吾氏が監修。

6月

## 施工現場で建設重機の「緊急停止装置」を採用 建設重機災害の防止、安全性No.1の実現に向けて

当社は、(株)アクティオが開発した重機の「緊急停止装置」を大蓉ホールディングス(株)とともに広く現場で活用しています。本装置の採用によって不測の事態で作業員が重機に接近した場合には自動的に重機が緊急停止するため、作業員の安全確保がより確実になります。3社は今後、本装置の改良を進め、様々な重機や工事計画に対応できるよう発展させていきます。



作業員と重機の近接作業状況

7月

## 独自技術の総合的活用による 要求性能の実現

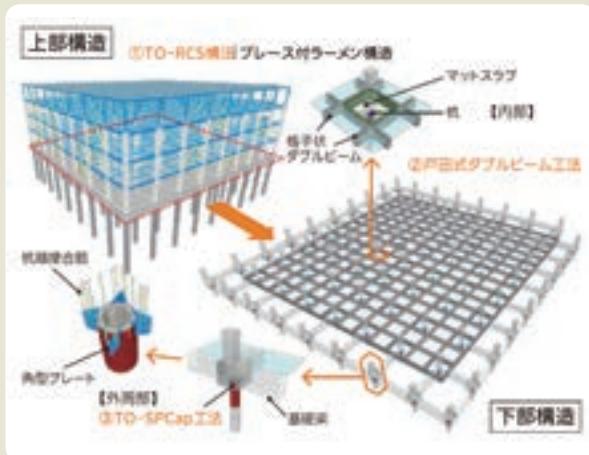
当社設計施工の大型物流施設において、適確な一般工法の採用とともに、以下の特徴を持つ独自技術を活用し、顧客ニーズである「合理的で高品質・高耐久性」を高い水準で実現しました。

### 独自技術

- **上部構造:**
  - ① RC造とS造を合成した戸田式柱RC梁S接合構法 (TO-RCS構法) の採用 → **経済性(ローコスト)と施工性の向上**
- **下部構造:**
  - ② 基礎掘削を極力浅くできる戸田式ダブルビーム工法の採用 → **基礎掘削土量の大幅な低減による経済性向上**
  - ③ 杭頭接合筋を正形状に配置する戸田式鋼板補強型杭頭接合工法 (TO-SPCap工法) の採用 → **施工性及び強度の向上**
  - ④ 貫通口径を最大1/2まで拡大し梁断面を縮小できる戸田式大開孔基礎梁工法の採用 → **掘削土量の低減による経済性の向上**

### 一般工法

- ① システム型枠(柱)とトラス筋付デッキ(床) 採用 → **高品質なRC躯体の実現**
- ② 高強度コンクリート(倉庫床を支える柱) 採用 → **高い耐久性の実現**

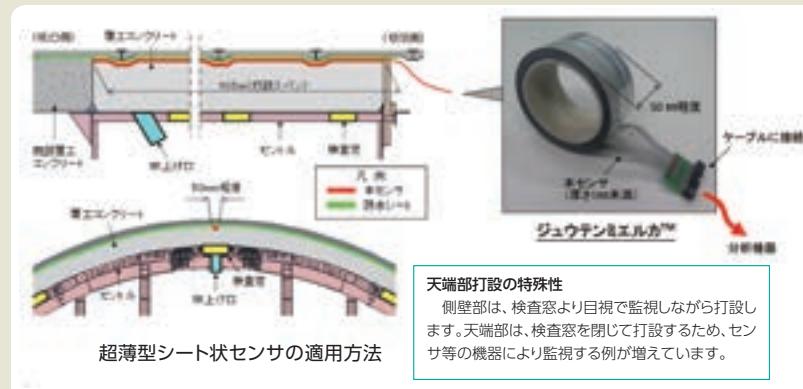


9月

## 覆工コンクリート打設時の品質管理を飛躍的に 向上させる超薄型シート状センサを開発

— 天端部全長の打設状況を可視化するセンサ  
「ジュウテンミエルカ™」 —

当社とムネカタインダストリアルマシナリー(株)(会長:宗形 直治)は、山岳トンネル覆工コンクリート天端部の充填・締めめ状況を打設スパン全長にわたって、高い精度で判定・可視化し、施工性にも優れた超薄型シート状センサ「ジュウテンミエルカ™」を開発しました(特許出願済み)。これまでのセンサは、特定点における局所的な監視でしたが、本センサを用いることで、天端部の監視精度が飛躍的に向上し、より優れた品質管理が可能となります。



### 天端部打設の特殊性

側壁部は、検査窓より目視で監視しながら打設します。天端部は、検査窓を閉じて打設するため、センサ等の機器により監視する例が増えています。

9月

## 建物の耐震性能向上とローコスト化を実現

— 分割型拘束材を用いた座屈拘束ブレースを開発 —

当社は、高性能、かつ経済的な「座屈拘束ブレース(補強材)」を開発しました。細長い形状のブレースは、一般に引張に強く圧縮に弱いという特徴があります。これに対し、座屈拘束ブレースは芯材が圧縮力によって座屈しないよう周囲を拘束材で補強したもので、従来ブレースよりも多くの地震エネルギーを吸収します。さらに、芯材を覆う拘束材を分割型とすることで、座屈拘束ブレースの性能に多大な影響を及ぼす充填材の平滑性や芯材とのクリアランスを高精度で管理することが可能となりました。これにより充填材として従来のモルタルよりも安価なコンクリートが使われるようになり、部材のコストダウンも実現しました。



# 揚重作業の効率向上と安全性確保を実現 吊荷旋回制御装置「ジャイアン®」

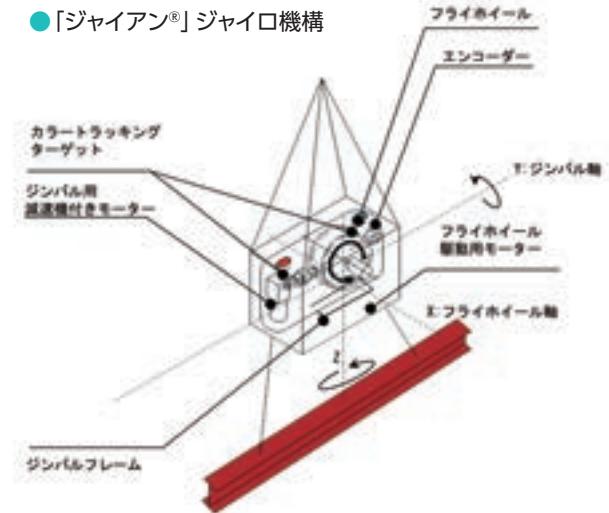
当社は建設工事現場における安全性や作業効率の改善を進めています。  
当社が提供する技術の一部を紹介いたします。



吊荷旋回制御装置「ジャイアン®」適用状況

建設工事では、鉄骨やカーテンウォール等の様々な資材をタワークレーンで揚重し、取り付ける作業が行われています。しかし、揚重作業は、強風やクレーンの動きに伴う慣性力※1によって、作業者の意思に反して吊荷が旋回してしまうケースが多く、安全性や作業効率の改善が求められています。

吊荷旋回制御装置「ジャイアン®」はジャイロ効果※2を使うことにより、吊荷が風等の外力を受けても一定の姿勢を保つ受動制御や、吊荷を作業者の意思通りに旋回させる能動制御を可能にした装置です。本装置を



使用することによって、揚重作業の安全性が向上し、また、吊荷を正確な位置に取り付けることが可能となります。

本装置を適用した当社建設現場では、鉄骨(梁)1本の設置に要する時間を1/3に削減しました。

※1 質量が慣性をもつために現れる見かけの力のこと。

※2 物体が高速回転すると姿勢が乱されにくくなる現象

### ■ 会社概要

(2017年9月30日現在)

#### ● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

#### 支店

- ・ 東京支店(東京都中央区)・首都圏土木支店(東京都中央区)
- ・ 千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)
- ・ 横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋市)
- ・ 札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)
- ・ 四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)

筑波技術研究所(つくば市)

#### 子会社

- ・ 戸田ビルパートナーズ(東京) ・ 戸田アメリカ
- ・ アベックエンジニアリング(埼玉) ・ 戸田ブラジル
- ・ 千代田建工(東京) ・ 戸田上海
- ・ 戸田道路(東京) ・ タイ戸田
- ・ 戸田ファイナンス(東京) ・ 戸田ベトナム
- ・ 東和観光開発(広島) ・ 戸田フィリピン
- ・ 戸田スタッフサービス(東京) ・ ABTD(フィリピン)
- ・ オフショアウィンドファーム  
コンストラクション(東京) ・ 五島フローティングウィンドパワー  
合同会社(長崎)

#### ● 従業員の状況

従業員数 5,000名(連結) 4,068名(個別)

#### ● 取締役および監査役

代表取締役社長	今井 雅 則	常勤監査役	海老原 恵 一
代表取締役	鞠谷 祐 士	常勤監査役	西 牧 武 志
代表取締役	秋 場 俊 一	監査役	神 谷 和 彦
代表取締役	宮 崎 博 之	監査役	安 達 久 俊
取締役	戸 田 守 道	監査役	丸 山 恵 一 郎
取締役	早 川 誠		
取締役	大 友 敏 弘		
取締役	植 草 弘		
取締役	下 村 節 宏		
取締役	網 谷 駿 介		

- (注) 1: 取締役下村節宏氏および網谷駿介氏は、社外取締役であります。  
 2: 監査役神谷和彦氏、安達久俊氏および丸山恵一郎氏は、社外監査役であります。  
 3: 取締役下村節宏氏、網谷駿介氏および監査役神谷和彦氏、安達久俊氏、丸山恵一郎氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

### ■ 株式の状況

(2017年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 9,691名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大一殖産株式会社	38,315	12.35
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	15,497	4.99
戸田 秀茂	13,912	4.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,772	3.15
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	9,248	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,263	2.34
三宅 良彦	7,027	2.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,651	2.14
戸田 博子	6,611	2.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(リテール信託口620090811)	6,002	1.93

- (注) 1. 上記のほか当社所有の自己株式12,656千株があります。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL.0120-232-711(通話料無料)
	<b>郵送先</b> 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toda.co.jp/">http://www.toda.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

#### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

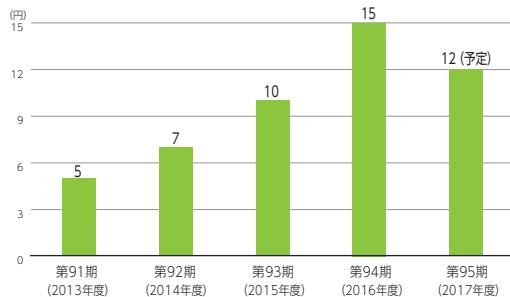
# 株主還元について

## 利益配分に関する基本方針および当期の配当

当社は、株主の皆様への継続的な安定配当の実施と、競争力および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案の上、業績および経営環境に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

当期の1株当たりの年間配当金は業績予想および今後の経営環境等を総合的に勘案し、12円とすることを予定しております。

1株当たり配当金推移



## 株主優待制度のご案内

当社では毎年9月末時点の株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様を対象に、株主優待を実施しています。



### ■ 優待内容

当社グループが保有・運営する「ホテル&リゾート サンシャイン サザンセト」(山口県大島郡周防大島町)の株主優待券を贈呈いたします。

### 割引率

平日(日曜日～木曜日)	正規の宿泊料金より30%割引
休前日(金曜日・土曜日・祝前日)	正規の宿泊料金より20%割引

### 発行基準

所有株式数1,000株以上5,000株未満	2枚
所有株式数5,000株以上	4枚

### ■ ご利用方法

- ご予約の際に優待券面に記載された番号をご連絡ください。
- 株主優待券1枚につき1回あたり1室のご利用ができます。
- 本制度の対象となる客室は1日あたり5室までといたします。

## 「グリーンボンド」の発行を予定



当社は、新たな浮体式洋上風力発電施設建設のため、その資金の一部をグリーンボンド(環境問題に資する事業資金調達のための社債)の発行により調達する予定です。

事業会社が自社プロジェクトを対象に発行するのは国内初となります。

【表紙の写真】



北里大学  
プラチナタワー  
提供:日刊工業新聞社

## 戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号  
TEL.(03)3535-1357  
<http://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。